

子宮頸がんワクチン

- ① サーバリックス(2価)
- ② ガーダシル(4 価)
- ③ シルガード(9 価)

2023 年4月より上 3 種類が公費対象となりました。

どれも子宮頸がんを起こしうる HPV(ヒトパピローマウイルス)に対して免疫を作るワクチンですが、入っている型の数が異なります。

- ① 2価→HPV 16.18
- ② 4価→HPV 6.11.16.18
- ③ 9価→HPV 6.11.16.18.31.33.45.52.58

赤字が子宮頸がんの原因になると言われているものです。

9 価が子宮頸がん原因になると言われているウイルス型を一番網羅している(原因の 88.2%)ので現状海外では中心に行われています。

当院でも初回接種であればシルガード(9 価)を勧めます。

ただ現時点で 2 価や 4 価を接種した方の 2 回目接種、3 回目接種をどう選ぶかについては予防接種説明書(添付文書)と行政との方針が異なっているので接種する医師、本人およびご家族で相談、決定することになります。

当院では予約時点で現状か、9 価にするかを決めて接種にお越し頂くことになります。

また 9 歳～14 歳の方の 9 価ワクチンは 2 回接種が基本です。2 回接種と 3 回接種で特に差がないため全世界の 80 以上の国、地域でこの接種方法が行われていますが、他ワクチンでは 3 回接種なのにそれで良いのかと悩む方もいるかもしれません。

選択肢が多いのでもし悩むようであれば相談させて頂ければと思います。

受診することがあればその際に声をかけて頂く、相談だけに来たいというのであれば事前にお電話いただければと思います。

宮前つばさクリニック 院長 幸田恭子